

かなぎん 2018

ミニディスクロージャー
平成29年度 営業のご報告



KANA
GIN

株式会社 神奈川銀行

頭取からのごあいさつ

平素より神奈川銀行をお引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。

この度、皆さまに当行をより一層ご理解いただき、身近な銀行としてご利用いただけるよう、本誌を発刊いたしました。本誌では当行の経営方針や業務の内容などを紹介しておりますので、ご参考にさせていただければ幸いに存じます。

国内の経済情勢は、海外経済が回復していることが下支えとなり、緩やかな回復基調にあります。企業の生産活動・設備投資は増加基調にあり、業況感も改善しています。景気が好転していることで、雇用・所得環境についても着実に改善していることから、個人消費も緩やかに改善し前向きな循環が生まれています。当行の営業基盤である神奈川県内についても国内同様の動きが見られています。

国内の金融情勢は、景気の好転に伴い金融機関の貸出残高は増加傾向にありますが、日本銀行のマイナス金利政策導入による市場金利の低位安定及び金融機関の競争激化によって、貸出金利は未だ低水準で推移しており、地域金融機関の経営環境は引き続き厳しい状況に置かれています。

このような経済情勢の下、当行では、平成29年4月より2か年に亘る中期経営計画『地域密着かなぎんⅡ（セカンドステージ）』を開始し1年が経過しました。具体的な戦略については後記で述べさせていただきますが、皆さまのご支援もあって着実に成果を上げることができました。この場をお借りして感謝申し上げます。今年度も引き続き各戦略を実施することによって、本計画のコンセプトである「地域プレゼンス（地域における存在感）の向上」に取り組んでまいります。

そうしたなか、当行では平成29年7月より個人のお客さま向けに、申込・契約時に原則ご来店不要のWeb完結型ローン「かなぎんプレミアムローン」の取扱いを開始しました。今後も商品のラインナップの充実を図り、お客さま満足度の向上に努めてまいります。

また、環境改善につながる債券「グリーンボンド」への投資、未病産業・最先端医療産業などのベンチャー企業を支援する「ヘルスケア・ニューフロンティア・ファンド」への出資や働き方改革に向け、神奈川県労働局や横浜市との提携を行うなど持続可能な地域社会づくりにも取り組みました。

地域金融機関として、金融円滑化にも鋭意取り組みを行い、中小企業者や住宅ローン利用者の皆さまからのご相談に真摯に対応しております。また、多様化・複雑化する中小企業の経営課題に対し、専門性の高いソリューション機能をご提供するために、各種外部機関等との業務提携などを積極的に行ってまいります。

どうか地元とともに歩む神奈川銀行に、今後とも、より一層のご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年6月



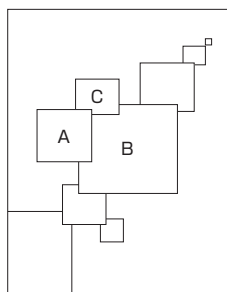
取締役頭取

三村 智之

目 次

頭取からのごあいさつ	1
経営方針	3
経営内容	4
地域貢献	6
株式会社のご案内	8
店舗一覧	8
財務諸表	9

表紙写真の紹介



A : 明月院 (鎌倉市)
B : 横浜
C : 清瀬風景

かなぎんの歩み

昭和28年	7月	株式会社神奈川相互銀行設立 (資本金50万円)
	8月	横浜市中区弁天通4-62において営業開始
昭和30年	5月	神奈川県中小企業会館内に本店移転
昭和51年	6月	預金業務オンライン開始
昭和53年	11月	新本店 (現在地) 完成、移転
昭和60年	10月	外国為替業務開始
昭和62年	6月	有価証券売買業務開始
平成元年	4月	普通銀行へ転換、株式会社神奈川銀行となる
平成 3年	1月	サンデーバンキング開始
平成 7年	7月	株式会社かなぎんビジネスサービス (現・連結子会社) 設立
平成10年	1月	オンラインシステム「STAR-ACE」開始
	12月	証券投資信託の窓口販売業務開始
平成12年	10月	第三者割当増資により新資本金51億91百万円
平成13年	4月	住宅ローン関連の長期火災保険の窓口販売業務開始
平成14年	10月	個人年金保険の窓口販売業務開始
平成17年	12月	横浜銀行とのATM提携サービスを開始
平成19年	3月	セブン銀行とのATM提携サービスを開始
平成22年	2月	新店舗「高座渋谷支店」オープン
	12月	学資保険及び終身保険の窓口販売業務開始
平成24年	7月	新オンラインシステム「STELLA CUBE」開始
平成27年	1月	金融商品仲介業務開始

プロフィール

名 称	: 株式会社 神奈川銀行
設 立	: 昭和28年7月30日 (営業開始: 昭和28年8月14日)
本 店 所 在 地	: 横浜市中区長者町9-166
資 本 金	: 5,191百万円
預 金	: 4,343億円
貸 出 金	: 3,469億円
自己資本比率	: 7.98% (単体、国内基準)
店 舗 数	: 34店舗
従 業 員 数	: 376人
ホームページアドレス	: http://www.kanagawabank.co.jp (平成30年3月31日現在)

経営方針

第11次中期経営計画「地域密着 かなぎんⅡ（セカンドステージ）」平成29年4月1日～平成31年3月31日（2か年計画）

当行では第11次中期経営計画「地域密着 かなぎんⅡ（セカンドステージ）」を策定し、平成29年4月1日から実施しております。「地域プレゼンス（地域における存在感）の向上」を目指し、私たちの理念である「地域の皆さまから信頼され、支持され、地域とともに発展する銀行」の実現を目標に、各種施策を実施してまいります。

私たちの理念

地域の皆さまから信頼され、支持され、地域とともに発展する銀行

計画コンセプト

地域プレゼンス（地域における存在感）の向上

重点戦略

キーワード

1. コア業務の深化 2. お客さま志向への意識改革の徹底 3. クイックレスポンス

営業戦略

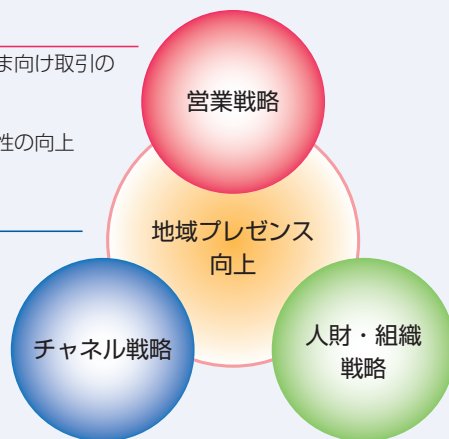
- 神奈川県内の中小企業および個人のお客さま向け取引の拡大・強化
- 地域活性化への取組み
- サービス・商品の充実によるお客さま利便性の向上
- 市場運用の強化

チャネル戦略

- 既存店舗の機能強化
- 効率的な販売チャネルの構築・強化

人財・組織戦略

- 効率的な組織運営
- 人財の確保および育成
- 経営管理態勢の強化



計数目標（平成31年3月末）

業容目標	融資量	3,600億円以上
	中小企業等貸出金残高	3,250億円以上
	中小企業等貸出金比率	90%以上
	事業性融資取引先数	4,500先以上
	資金量	4,400億円以上
収益目標	投信口座数	5,500口座以上
	業務粗利益	72億円以上
	業務純益	10億円以上

経営内容

I 平成29年度業績の概要

損益状況

項目	(単位：百万円)		
	平成27年度	平成28年度	平成29年度
業務純益	1,034	1,029	1,217
臨時損益	△104	△101	△160
うち不良債権処理額	347	272	652
経常利益	929	927	1,057
当期純利益	1,089	617	839

預金・貸出金等

項目	(単位：億円)		
	平成27年度	平成28年度	平成29年度
預金残高	4,171	4,241	4,343
貸出金残高	3,306	3,438	3,469
自己資本比率（単体）	8.30%	8.09%	7.98%

●損益状況

銀行の本業から生じる業務純益につきましては、12億17百万円となりました。

資金の効率的調達・運用による収益力の向上や役務取引等収益の増強に取組みました結果、経常利益は10億57百万円、当期純利益は8億39百万円となりました。

●預金

預金は、地域密着型の営業態勢を推進した結果、前年に比べて102億円増加し、4,343億円となりました。

●貸出金

貸出金は、地元中小企業向けの融資を積極的に推進した結果、前年に比べて31億円増加し、3,469億円となりました。

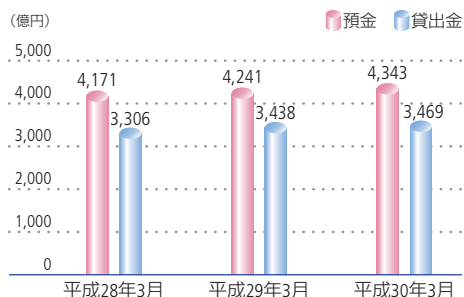
●自己資本比率

自己資本比率は、自己資本の総資産（リスクアセット）に対する割合で、銀行の健全性を示す基本的かつ重要な指標です。

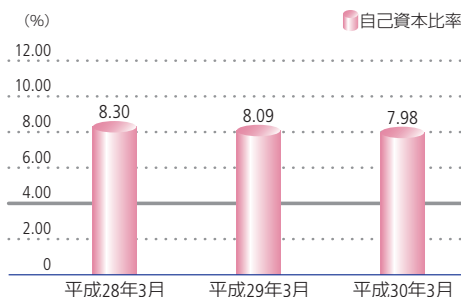
当行の平成30年3月末の自己資本比率は、単体7.98%（連結8.03%）と国内基準行が健全とされる4%を大きく上回っています。

今後も良質な資産の積み上げを図るとともに、内部留保の拡充により自己資本比率の向上に努めてまいります。

預金・貸出金残高の推移



自己資本比率の推移



2 不良債権の状況

●● 不良債権の処理状況について

当行では資産の健全性強化を経営の重要課題と位置づけ、不良債権への取組みを強化しております。平成29年度におきましても、お客さまの信頼をより強固なものとするため、将来のリスクに備えて適正に資産査定を行い、償却・引当を実施いたしました。

その結果、金融再生法の開示基準による不良債権は100億円となり、総与信に対する比率は2.88%となりました。また、これらの債権に対する担保・保証等保全額及び貸倒引当金による保全率は85.4%となっております。

●● 金融再生法に基づく資産査定額ならびに保全状況

(単位：億円)

区分	平成28年度	平成29年度				
	債権残高	債権残高 A	担保・保証等 保全額	貸倒引当金	保全引当金計 B	保全率 B/A (%)
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	20	18	14	4	18	100
危険債権	58	62	37	16	54	86.1
要管理債権	24	18	4	7	12	68.6
小計	104	100	56	29	85	85.4
正常債権	3,340	3,375				
合計	3,445	3,475				

※ これらの債権は「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律」第6条に基づき区分し、同法律第7条に基づき公表しています。

3 金融円滑化への取組みについて

当行は、地域金融機関として、中小企業のお客さまの経営課題や個人のお客さまのライフサイクルに応じた支援を最重点施策の一つとして位置づけております。

当行は、「中小企業者等に対する金融の円滑化を図るための臨時措置に関する法律」の期限到来後もこれまでと同様に、お借入をご利用のお客さまからのご相談に真摯かつ迅速に取組んでおります。

各営業店にはお客さまからのお借入条件変更等のご相談をお受けする「融資ご返済相談窓口」を設置し、「融資ご返済相談窓口担当者」を配置しています。

また、金融円滑化に関するご意見・ご要望・苦情等については各営業店に配置している「お客さま相談員」のほか、本部コンプライアンス統括部内の「お客さま相談窓口」が承ります。

<ご利用中のお借入のご返済に関するご相談>

○お取引のある店舗の「融資ご返済相談窓口担当者」までご相談ください。

(連絡先は8ページの「店舗一覧」をご覧ください。)

受付時間：<お電話>午前9時から午後5時まで (銀行休業日は除きます)

<窓 口>午前9時から午後3時まで (銀行休業日は除きます)

<ご意見・ご要望・苦情等>

○各営業店の「お客さま相談員」または本部コンプライアンス統括部内の「お客さま相談窓口」(045-261-2641代表)が承ります。

受付時間：<お電話>午前9時から午後5時まで (銀行休業日は除きます)

地域貢献

I 地域への信用供与

当行は地域金融機関として、地域のお客さまからお預かりした大切な預金の多くを、地元である神奈川県内の中小企業や個人への貸出に向けています。

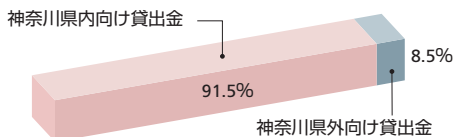
●●● 県内貸出に特化

当行の神奈川県内のお客さま向け貸出金残高は3,176億円であり、貸出金全体に占める割合は91.5%となっております。

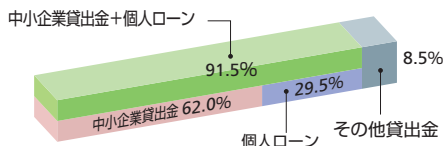
●●● 個人・中小企業貸出に特化

個人・中小企業向け貸出金残高は3,177億円であり、貸出金全体に占める割合は91.5%となっております。

神奈川県内向け貸出金割合（平成30年3月31日現在）



個人・中小企業向け貸出金割合（平成30年3月31日現在）



●●● 経営改善支援

本部と各営業店が連携し、お取引先とのコミュニケーションを密にすることで、経営改善計画の作成・実行などのサポートを行っています。

また、第二地方銀行協会などが主催する事業再生研修への参加や、融資渉外担当者を対象とした行内研修を実施するなど、行員のスキルアップを図っております。

平成29年度は、ご支援先68先に対し、債務者区分のランクアップ3先という実績でした。

債務者区分	経営改善支援 取組み先	うち期末に債務者区分 が上昇した先	うち期末に債務者区分 が変化しなかった先	
		正常先	1	—
要注意先	その他要注意先	61	3	55
	要管理先	1	—	1
破綻懸念先	4	—	4	
実質破綻先	1	—	1	
合計	68	3	62	

2 地域サービスの充実

●●● 商品の充実

平成29年7月より個人のお客さま向けに、当行ウェブサイト上から申込時・契約時に原則ご来店不要なWeb完結型ローン「かなぎんプレミアムローン」の取扱いを開始いたしました。詳しくは当行本支店の窓口にてお問い合わせ下さい。



＜かなぎんプレミアムローン＞

●●● 神奈川労働局との提携

平成30年1月に神奈川労働局と「働き方改革に係る包括連携に関する協定」を締結しました。本提携によって、お客さまからの経営や労務に関するニーズについて、各種支援策や労働関係施策の情報をご提供することができます。こうした取り組みを通じ、県内の働き方改革及び地域企業振興の推進を図り、地域の活性化に努めてまいります。



＜神奈川労働局との調印式＞

●●● こども金融教育・地域貢献活動

将来の社会を担う地元の学生を対象に、支店見学・紙幣の数え方の練習・硬貨の重さを実感するなどの体験を通じて、銀行業務について学んでもらいました。平成29年12月にはボランティア活動として山下公園周辺の清掃活動に参加しました。今後も地元金融機関として、各種イベントを通じ地域の皆さまとの交流を深めてまいります。



＜地元中学校の職業体験＞



＜山下公園周辺の清掃活動＞



株式会社のご案内／店舗一覧

株式のご案内

1. 事業年度

4月1日から翌年3月31日まで

2. 定時株主総会

毎事業年度末日から3カ月以内に開催いたします。

3. 配当金

(1) 期末配当金は、3月31日の最終の株主名簿に記載又は記録された株主又は登録株式質権者に対し、取締役会の決議によりお支払いいたします。

(2) 中間配当金は、取締役会の決議により9月30日の最終の株主名簿に記載又は記録された株主又は登録株式質権者にお支払いいたします。

なお、期末配当金及び中間配当金のお受け取りは、お近くの当行本支店の預金口座振込をご指定くださいますと早くて便利です。ご利用ください。

4. 株式事務取扱場所及び取次所

株式の名義書換え、単元未満株式の買取り、その他株式に関する事務は、下記株主名簿管理人においてお取り扱いいたします。

株主名簿管理人

三菱UFJ信託銀行株式会社

【同連絡先】

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

東京都府中市日鋼町1-1

電話0120-232-7111（通話料無料）

〔受付時間 9：00～17：00（土、日、祝祭日、年末年始を除く）〕

郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

ホームページアドレス：<https://www.tr.mufg.jp/daikou/>

5. 公告掲載新聞

横浜市において発行する神奈川新聞に掲載いたします。

店舗一覧

店舗名	所在地	電話番号
本店	横浜市中区長者町9-166	(045) (261) 2641(代)
(横浜橋通支店)	本店内	(045) (261) 2641(代)
(経:710-10-264)	本店内	(045) (260) 2855(代)
横浜橋出張所	横浜市南区真金町1-1	
洪福寺支店	横浜市西区浅間町5-384-1	(045) (311) 3021(代)
上大岡支店	横浜市港南区大久保1-20-54	(045) (842) 1861(代)
六角橋支店	横浜市神奈川区六角橋2-28-22	(045) (481) 6345(代)
中田支店	横浜市泉区中田南3-1-7	(045) (802) 1365(代)
富岡支店	横浜市金沢区富岡西7-15-17	(045) (771) 3651(代)
井土ヶ谷支店	横浜市南区井土ヶ谷上町21-36	(045) (712) 2111(代)
芹ヶ谷支店	横浜市港南区芹ヶ谷2-8-33	(045) (823) 1351(代)
蒔田支店	横浜市南区榎町2-41	(045) (742) 2611(代)
本牧支店	横浜市中区本牧三之谷3-23	(045) (623) 3811(代)
末吉支店	横浜市鶴見区上末吉5-5-22	(045) (575) 2323(代)
瀬谷支店	横浜市瀬谷区南台2-11-3	(045) (303) 0321(代)
岡村支店	横浜市磯子区岡村8-1-28	(045) (761) 3314(代)
根岸支店	横浜市磯子区西町4-19	(045) (754) 3311(代)
弥生台支店	横浜市泉区弥生台13-6	(045) (813) 3711(代)
横浜西口支店	横浜市神奈川区鶴屋町2-23-2 TSプラザビル1F	(045) (411) 2011(代)
戸部支店	横浜市西区中央1-8-20	(045) (319) 1385(代)
センター北支店	横浜市都筑区中川中央1-29-24	(045) (910) 2230(代)
(経:710-10-264)	センター北支店内	(045) (911) 0808(代)
横須賀支店	横須賀市日の出町1-15-1	(046) (823) 1480(代)
長井支店	横須賀市長井1-17-20	(046) (856) 3141(代)
平塚支店	平塚市平塚2-31-9	(0463) (31) 2981(代)
茅ヶ崎支店	茅ヶ崎市共恵1-2-24	(0467) (82) 7171(代)
(経:710-10-264)	茅ヶ崎支店内	(0467) (87) 8411(代)
辻堂支店	藤沢市辻堂1-1-15	(0466) (36) 3155(代)
藤沢支店	藤沢市鶴沼石上1-5-7	(0466) (23) 2641(代)
六会支店	藤沢市亀井野2-3-1	(0466) (82) 0551(代)
川崎支店	川崎市川崎区宮本町6 明治安田生命川崎ビル1F	(044) (244) 7538(代)
中原支店	川崎市中原区市ノ坪30-1	(044) (722) 9121(代)
渡田支店	川崎市川崎区渡田向町29-16	(044) (245) 9781(代)
相模台支店	相模原市南区松が枝町24-10	(042) (743) 4511(代)
下大槻支店	秦野市下大槻410	(0463) (77) 2567(代)
桜ヶ丘支店	大和市福田5528	(046) (268) 1001(代)
高村支店	平塚市高村203	(0463) (34) 1011(代)
高座渋谷支店	大和市福田2021-2 大和市渋谷5-22	(046) (267) 9921(代)

（平成30年6月30日より）
住居表示変更予定
*住居表示変更のみであり、移転に伴うものではありません。

財務諸表 (連結・単体)

記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結貸借対照表 (平成30年3月31日現在)

(単位：百万円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
現金預け金	19,754	預金	434,325
コールローン及び買入手形	106	借入金	9,900
有価証券	95,665	その他負債	1,833
貸出金	346,963	賞与引当金	125
外国為替	11	退職給付に係る負債	608
その他資産	7,886	睡眠預金払戻損失引当金	53
有形固定資産	4,727	再評価に係る繰延税金負債	518
建物	1,107	支払承諾	365
土地	2,738	負債の部合計	447,731
リース資産	546	(純資産の部)	
その他の有形固定資産	334	資本金	5,191
無形固定資産	27	資本剰余金	4,101
その他の無形固定資産	27	利益剰余金	11,175
繰延税金資産	217	自己株式	△59
支払承諾見返	365	株主資本合計	20,408
貸倒引当金	△3,635	その他有価証券評価差額金	2,879
資産の部合計	472,091	土地再評価差額金	1,000
		退職給付に係る調整累計額	70
		その他の包括利益累計額合計	3,951
		純資産の部合計	24,359
		負債及び純資産の部合計	472,091

連結損益計算書 (平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

(単位：百万円)

科目	金額	金額
経常収益		8,391
資金運用収益	6,619	
貸出金利息	5,969	
有価証券利息配当金	641	
コールローン利息及び買入手形利息	1	
預け金利息	5	
その他の受入利息	1	
役員取引等収益	1,080	
その他業務収益	122	
その他経常収益	569	
償却債権取立益	12	
その他の経常収益	556	
経常費用		7,333
資金調達費用	204	
預金利息	198	
コールマネー利息及び売渡手形利息	△0	
その他の支払利息	6	
役員取引等費用	447	
その他業務費用	196	
営業経費	5,985	
その他経常費用	499	
貸倒引当金繰入額	12	
その他の経常費用	486	
経常利益		1,058
特別損失		12
固定資産処分損	3	
減損損失	8	
税金等調整前当期純利益		1,045
法人税、住民税及び事業税	82	
法人税等調整額	123	
法人税等合計		206
当期純利益		839
親会社株主に帰属する当期純利益		839

第93期 貸借対照表 (平成30年3月31日現在)

<単体>

(単位：百万円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
現金預け金	19,754	預金	434,385
現金	4,228	当座預金	16,605
預け金	15,525	普通預金	201,799
コールローン	106	貯蓄預金	4,917
有価証券	95,675	通知預金	1,977
国債	32,118	定期預金	208,126
地方債	26,693	定期積金	103
社債	19,382	その他の預金	856
株式	7,823	借入金	9,900
その他の証券	9,658	借入金	9,900
貸出金	346,963	その他負債	1,832
割引手形	2,621	未払法人税等	67
手形貸付	38,436	未払費用	154
証書貸付	289,154	前受収益	298
当座貸越	16,750	給付補填備金	0
外国為替	11	リース債務	554
外国他店預け	11	その他の負債	758
その他資産	7,883	賞与引当金	125
未収収益	283	退職給付引当金	710
その他の資産	7,600	睡眠預金払戻損失引当金	53
有形固定資産	4,727	再評価に係る繰延税金負債	518
建物	1,107	支払承諾	365
土地	2,738	負債の部合計	447,892
リース資産	546	(純資産の部)	
その他の有形固定資産	334	資本金	5,191
無形固定資産	27	資本剰余金	4,101
その他の無形固定資産	27	資本準備金	4,101
繰延税金資産	248	利益剰余金	11,123
支払承諾見返	365	利益準備金	1,090
貸倒引当金	△3,635	その他利益剰余金	10,033
資産の部合計	472,129	別途積立金	6,492
		繰越利益剰余金	3,540
		自己株式	△59
		株主資本合計	20,356
		その他有価証券評価差額金	2,879
		土地再評価差額金	1,000
		評価・換算差額等合計	3,880
		純資産の部合計	24,237
		負債及び純資産の部合計	472,129

第93期 損益計算書 (平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

<単体>

(単位：百万円)

科目	金額	金額
経常収益		8,392
資金運用収益	6,619	
貸出金利息	5,969	
有価証券利息配当金	641	
コールローン利息	1	
預け金利息	5	
その他の受入利息	1	
役務取引等収益	1,080	
受入為替手数料	337	
その他の役務収益	743	
その他業務収益	122	
外国為替売買益	4	
国債等債券売却益	118	
国債等債券償還益	0	
その他経常収益	569	
償却債権取立益	12	
株式等売却益	337	
その他の経常収益	219	
経常費用		7,335
資金調達費用	204	
預金利息	198	
コールマネー利息	△0	
その他の支払利息	6	
役務取引等費用	447	
支払為替手数料	67	
その他の役務費用	379	
その他業務費用	193	
国債等債券売却損	12	
国債等債券償還損	180	
営業経費	5,990	
その他経常費用	499	
貸倒引当金繰入額	12	
貸出金償却	421	
株式等売却損	0	
その他の経常費用	64	
経常利益		1,057
特別損失		12
固定資産処分損	3	
減損損失	8	
税引前当期純利益		1,044
法人税、住民税及び事業税	82	
法人税等調整額	123	
法人税等合計		205
当期純利益		839



かなぎん

「かなぎん2018 ミニディスクロージャー」
平成29年度 営業のご報告
平成30年6月発行

発行編集 神奈川銀行 総合企画部
〒231-0033 横浜市中区長者町9-166
TEL 045-261-2641